

入省後は、係員・係長・課長補佐等とキャリアを積み重ねながら、主に特定分野の業務(例えば行政管理・評価、統計、地方自治、情報通信など)を中心に担当します。概ね2～3年に一度人事異動があり、また、本省と地方支分部局との人事交流、地方自治体への派遣、他府省庁や在外機関への出向、国内外の大学等への留学など、多様な経験を積む機会があります。

省の幹部職員へ

他省庁や地方自治体等への出向

他の政府機関、地方自治体、独立行政法人等への出向を通じて、様々なものの見方や考え方を身につけるとともに、業務の提携・連携を深めます。



管理職

本省で課室が担当する施策の責任者として重要な役割を担いつつ、管理者として課室員全体をマネジメントします。また、地方支分部局では、局の幹部職員として活躍します。



課長補佐級

(30代後半～)

本省で具体的な施策の企画・立案等を通じて、課室長をサポートしながら、担当施策を推進していきます。また、地方支分部局では、課室における業務執行の責任あるリーダーとして重要な役割を担います。



係長級

(20代後半～)

本省・地方支分部局等の中堅として責任のある担当業務を担います。担当政策について上司をサポートしつつ、部下を指導しながら、担当する業務の成果を最大化できるよう奮闘します。また、地方支分部局では、本省が立案した施策に対する具体的な業務執行の中核となって活躍します。



係員級

留学制度

国内外の大学等で、専門的または国際的な知見を高めつつ、総務省の行う政策等に資する研究を行います。

在外公館等への出向

世界各地の在外公館や国際機関等に出向して、外交官や国際公務員として活躍しつつ、国際的な視点から、我が国及び総務省の業務を推進します。

入省から6～7年程度の間は、本省・地方支分部局等で係員として担当業務をこなしながら、上司や先輩から業務に関する知識や仕事の進め方等を学び、様々な業務経験を積んでいきます。